

公民館運営審議会 会議概要

1	審議会名	令和6年度 第3回安曇野市公民館運営審議会
2	日時	令和7年3月19日 午後1時30分から午後3時
3	会場	安曇野市役所 大会議室
4	出席者	羽重委員長、高橋副委員長、安藤委員、中澤委員、望月芳雄委員、 大内委員、鈴木委員、一志委員、青木委員、望月みどり委員
5	市側出席者	中央公民館二木館長、豊科公民館臼井館長、穂高公民館早川館長 三郷公民館藤松館長、堀金公民館山田館長、明科公民館安井館長、 中央公民館大蔵、中央公民館小笠原
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和7年4月11日
協 議 事 項 等		
会議の概要 1 開 会 高橋副委員長 2 あいさつ 羽重委員長 3 協議事項 (1) 令和7年度公民館事業計画について 4 そ の 他 5 閉 会 高橋副会長 協議事項 【委員】 ・三郷の洞合公園を活用する事業はあるか。 ・東小倉公民館は女性学級が廃止となった、人気の寄せ植え教室を公民館講座で開催できないか。 【館長】 ・夏休み子ども教室で川遊びイベントを洞合公園で予定。また、環境教育に関連した講座も検討中。 ・寄せ植え教室は地区公民館でも実施されており、三郷公民館での実施には検討が必要。 【委員】 ・明科公民館運営方針4-(4)に「公民館職員は自身で生涯学習を実践しながら、住民が共感できる公民館事業を企画・運営し」とあり、素晴らしいこと。 ・地域学校協同本部事業の内容について伺いたい。会議の開催が主のか。 【館長】 地域学校協働活動本部が学校運営協議会と連携して子どものために地域と学校を協働させる。 支援活動として、見守り隊やわいわいランドなどが運営されている。 拾カ堰クリーン大作戦のように地域全体が関わる取り組みが進んでいる 教育活動だけでなく地域課題にも取り組むことで、地域と学校の連携を強化し、子どもの環境をよりよくしていく取り組みが重要。 【館長】 学校や地域社会の課題として、人口減少でありながらも教師の負担は増加しており、地域コミュニティも弱体化。ウェルビーイングな、持続可能な社会が求められている。 地域と学校の連携を強化し、双方の活力を高める組織として、地域学校協働活動本部と学校運営協議会が両輪となりコミュニティースクール事業を進めるもの。 【委員】 明科の画家、望月桂は犀川凡太郎として風刺画なども描いた。 4月に東京で個展を開催後、豊科近代美術館で作品を預かっている。 あまり知られていないので、公民館等でも紹介の機会を。		

【会長】

地域の宝や人物に関する講座などの検討を。

【委員】

人員減の中、PDCAサイクルで事業の継続と発展を考え、ウェルビーイングの実現を望む。